

# 刊行物の内容紹介等

## 1 市史関係書籍

2024.3.15更新

書名	体裁	内容	価格
神栖の歴史(普及版)	1984年7月1日 発行 B5版 334ページ 1200g	<b>神栖町の原始・古代から現代までの通史について、写真などを入れて親しみやすく紹介</b> 第1章 考古、流れ海の時代 第2章 中世水郷に生きる人びと 第3章 近世の神栖十七か村 第4章 近代をむかえた神栖 第5章 大正から昭和へ、不況と戦争の時代 第6章 神栖村の誕生から鹿島開発へ 神栖町分合俵 神栖町歴史略年表	2,000円 (市内の方)  2,500円 (市外の方)
神栖町史 上巻	1988年3月31日 発行 A5版 816ページ 1300g	<b>神栖町の近世までの通史</b> 第1部 原始・古代の鹿南地方 第2部 中世の神栖 第3部 近世の神栖 近世史料編	3,500円
神栖町史 下巻	1989年3月31日 発行 A5版 993ページ 1500g	<b>神栖町の近現代の通史</b> 第4部 近代の神栖 第5部 現代の神栖 近現代史料編 神栖町年表	在庫なし
波崎町史 通史編	1991年3月30日 発行 A5版 627ページ 1100g	<b>波崎町の原始・古代から近・現代までの通史</b> 第1編 原始・古代 第2編 中世 第3編 近世 第4編 近・現代	4,000円
波崎町史料 I	1981年3月31日 発行 A5版 462ページ 900g	<b>旧村時代の各村の沿革、住民の足跡を探訪した旧村の歴史を収録</b> I 東下村の村是 II 旧村の歴史	2,000円
波崎町史料 II	1982年3月31日 発行 A5版 578ページ 1050g	<b>漁業、農業を主軸とする産業の歩みを収録</b> I 漁業 II 農業・特産物	2,500円
写真集 波崎町の歴史	1980年3月31日 発行 B5版 190ページ 800g	<b>波崎町の近・現代を紹介する写真集</b> 1 波崎町の概観 2 明治維新前夜の波崎 3 明治の波崎 4 日露戦後・大正期の波崎 5 昭和恐慌から戦時体制下の波崎 6 敗戦後の波崎 7 新しい波崎町	500円 (市内の方)  1,000円 (市外の方)

## 2 文化財関係資料

書名	体裁	内容	価格
文化財かみす第1集	1972年3月 発行 B5版 35ページ 68g	神栖町の移り変わり、神社仏閣、伝説、無形文化財を中心にまとめたもの。	1,700円
文化財かみす第2集	B5版 55ページ 100g	<b>神栖の碑文をたずねて</b> 鹿島開発が進むにつれて忘れさらえようとする地域に残されている記念碑や顕徳碑を巡り、まとめたものを収録。	1,700円
文化財かみす第3集	1975年3月 発行 B5版 37ページ 70g	神栖町の神社、仏閣、仏像を中心にまとめたもの。	1,700円
文化財かみす第4集	1976年3月 発行 B5版 61ページ 136g	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財指定神栖町第1号</li> <li>・利根川流域に於ける念仏と仏教</li> <li>・お日待と諸行事</li> <li>・俚諺集など</li> </ul> 郷土の開発が進み、伝統文化が失われようとする中で「民俗資料編」としてを編集したもの。	1,700円
文化財かみす第5集	1978年3月 発行 B5版 39ページ 74g	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神栖町息栖 海老塚遺跡について</li> </ul> 遺跡の概要と、奥野谷出羽貝塚備忘録を掲載。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・親鸞上人滞在家、長者台、六分塚の由来、流灌頂</li> </ul> 各地区の言い伝えを収録。	1,700円
文化財かみす第6集	1979年2月1日 発行 B5版 32ページ 82g	<b>ふるさとの伝説 その1</b> 語り継がれてきた「神栖町の伝説」29話の特集したもの。 「おとりの手掛松」、「長者台」、「蚕霊神社縁起」、「童子女の松原」、「賀の九人坊」、「筒井浄妙と極楽寺」など	1,700円
文化財かみす第7集	1980年3月1日 発行 B5版 34ページ 76g	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和島誠一先生のフィールドノートから</li> </ul> 昭和20年頃に日本考古学の草分け的存在である同氏が、鹿島郡南部を調査した際の記録。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・童子女松原の位置についてなど</li> </ul> 常陸国風土記に記載される「童子女の松原」の場所の特定に迫るもの。	1,700円
文化財かみす第8集	1982年8月1日 発行 B5版 24ページ 60g	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「軽野」地名私考</li> </ul> 『常陸国風土記』の香島郡の項で登場する「軽野」という地名についての一考察。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・息栖大明神縁起など</li> </ul> 明治8年に写した写本が、国立国会図書館に収められている。	1,700円
文化財かみす第9集	1984年 194g	<b>文化財愛護かるた</b> 神栖町の文化財を「かるた」で紹介。	600円
文化財かみす第10集	1985年3月20日 発行 B5版 41ページ 104g	<b>関東大震災体験記集</b> 当時の高齢者学級生、町内老人クラブの協力により、町内・町外での関東大震災の被災体験を収録。	1,700円

書名	体裁	内容	価格
文化財かみす第11集	1986年3月 発行 B5版	<b>戦争体験記集</b>	在庫なし
文化財かみす第12集	1989年3月20日 発行 B5版 54ページ 170g	<b>戦争体験記集Ⅱ</b> 体験記集は、昭和63年に町内老人クラブと老人大学に寄稿依頼し、編集したもの。	1,700円
文化財かみす第13集	1990年3月20日 発行 B5版 30ページ 122g	太平洋戦争や鹿島開発という大事業を乗り越えた人々の回顧録であり、台風、洪水、火事、雷、コレラ、塩害などにみまわれた人々の経験談を収録。	1,700円
文化財かみす第14集	1991年3月20日 発行 B5版 38ページ 128g	・かみす風土記 軽野村の四季折々の様子について昭和40年代にまとめたものを一部掲載するとともに、地域に伝わる伝説を紹介。 ・神栖町の方言(2) ウ〜カ行までなど	1,700円
文化財かみす第15集	1992年3月31日 発行 B5版 55ページ 156g	・神栖町の民俗行事 当時の老人大学の参加者100名を対象にしたアンケートや聞き取り調査を行い、各地区で行われている年中行事等を紹介。 ・神栖町の方言(3) サ行からタ行まで	1,700円
文化財かみす第16集	1993年3月31日 発行 B5版 37ページ 138g	<b>神栖町の文化財をたずねて</b> 神栖町で設置した文化財案内板を一同に紹介	1,700円
文化財かみす第17集	1993年8月15日 発行 B5版 194ページ 462g	<b>語り伝えよう 平和のために！戦争体験記集</b> 文化財かみす第11集、第12集、第13集を集成し、新たな体験記と写真等を加えて編集。	1,700円
文化財かみす第18集	1995年3月 発行 A4版 179ページ 484g	・国指定重要文化財「山本家住宅」保存修理工事報告 平成4年から2年がかりで行った大修理の工事概要、記録写真等を掲載。 ・神栖町の方言(4) ナ行からンまで	1,700円
文化財かみす第19集	1996年8月 発行 A4版 216ページ 462g	<b>I 編 神之池海軍航空隊</b> <b>II 編 手記「神雷部隊の人々」など</b> 神栖町歴史民俗資料館平成7年度企画展「神之池海軍航空隊」の一環として発行。海軍神雷部隊出撃50周年記念大会において寄稿依頼し、寄せられた原稿・写真・資料等を掲載。	1,700円
文化財かみす第20集	1997年3月 発行 A4版 95ページ 312g	(1)神栖町の方言・民俗語について 2,400余りを掲載する神栖町方言集の集大成。旧軽野地区・旧息栖地区のそれぞれにわけて収録。 (2)童子女の松原は何処かな・その1 常陸国風土記に記載される「童子女の松原」の場所の特定に迫るもの。	1,700円

書名	体裁	内容	価格
文化財かみす第21集	1998年3月 発行 A4版 93ページ 306g	(1)村の四季一庶民の記録ー 忘れ去られようとしている村の姿を留めようと、昭和40年代に書かれた記録。文化財かみす第14集に一部紹介したが、今回は全文を掲載。 (2)軽野村発達誌 軽野村の歴史や産業をまとめたもので、大正末期から昭和初期に書かれた。軽野尋常高等小学校が発行。 (3)常陸国における安是湖 常陸国風土記に記載される「安是湖」の場所の特定に迫るもの。 (4)童子女の松原は何処かな・その2 常陸国風土記に記載される「童子女の松原」の場所の特定に迫るもの。 (5)もう一つの行方郡 陸奥の国行方郡(福島県原町市)について	1,700円
息栖神社関係資料集 第1集	1985年3月 発行 B5版 32ページ 400g	古代から近代まで息栖神社を記した文書の一部を紹介 三代實録、鹿島宮社例傳記、古今類聚常陸国誌 於岐都説神社(豊浦誌)、木曾路名所図会 諸国道中金草鞋、鹿島志、鹿島参詣記 利根川図志、自然と人生、新編常陸国誌 鹿島郡郷土史、東下村郷土史 息栖大明神略縁起	2,000円
はさきの巨樹・老木	1996年3月31日 発行 A4版 73ページ 300g	海岸沿い厳しい自然環境の中で育った巨木・老木を紹介 1 波崎町の巨樹・老木 2 調査と結果 3 波崎町と樹木とのかかわり 4 参考資料	500円
波崎の聞き語り I	1982年8月20日 発行 A5版 247ページ 348g	郷土を愛し、生活を育んできた人たち7人からの聞き取り。 “生”の歴史を収録したパート I。 1 親子二代が語る須田の生活 2 ムラミ(村網)の成立と漁民の仕事 3 半農半漁の生活 4 千両の栽培と市場 5 利根川の交通と乗合自動車 6 利根川の川雑漁と渡船 7 小学校統廃合問題と須田区の人びと	500円
波崎の聞き語り II	1983年3月31日 発行 A5版 227ページ 326g	郷土を愛し、生活を育んできた人たち6人からの聞き取り。 “生”の歴史を収録したパート II。 1 大正・昭和初期の漁労と船方の生活 2 揚繰網漁の船方の昔と今 3 町(東部)のようすと船主の生活 4 加工屋の仕事と地域の気質 5 若松開拓組合の営農と町村合併問題 6 農地改革と常東農民組合のこと	500円
波崎の聞き語り III	1985年3月30日 発行 A5版 110ページ 200g	郷土を愛し、生活を育んできた人たち7人からの聞き取り。 “生”の歴史を収録したパート III。 1 矢田部の生活と若者の習俗 2 舎利の生活ー祖母が孫娘に伝えた話ー 3 在郷軍人生活と文化活動 4 須田の生活と村の様相 5 柳川家と私たち 6 柳川新田村の組織と経営	500円
波崎町の石造物	1989年3月31日 発行 B5版 98ページ 350g	波崎町に分布する石造物の集大成。	500円
波崎のことば	1990年3月31日 発行 B5版 132ページ 250g	波崎の方言を紹介。 波崎ことばの成立と移り変り 波崎ことばの分析資料 植物 動物 付記	400円